



平成25年 5月10日

各 位

会社名 名糖運輸株式会社
代表者名 代表取締役社長 中西 広明
(コード番号 9047 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 宮崎 博史
管理本部長
(Tel 0422-54-8803)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、平成25年度（平成26年3月期）から平成27年度（平成28年3月期）までの3ヶ年を対象とした中期経営計画「収益基盤の再構築」を策定しましたので、お知らせ致します。

1. 中期経営計画策定に至る背景

デフレの長期化、東日本大震災以降の消費者行動の変化、高齢化と人口減少による全般的な消費低迷により、当グループが主として取り扱うチルド商品の物量も伸び悩んでおります。当グループの経営状況につきましても、近年の外部環境の著しい変化に対し、組織・営業所の再編、経営資源の有効活用等による対策を講じましたが、収益力はまだ十分に回復しておりません。

今後を見通しますと、競争の激化による顧客からの受託料金の見直し要請、円安傾向が進む中、原油価格上昇による軽油価格及び電気料金の値上げや、労働関係法令改正等によるコスト増加が見込まれ、更なる事業環境の悪化が想定されます。

こうした状況を踏まえ、今後とも継続して当グループが成長していくためには、前例にとられない収益基盤の再構築が不可欠であると判断し、事業全般に亘り見直しを行い、今般新たな中期経営計画を策定するに至りました。

2. 当グループの目指す姿

- (1) 当グループは、お客様の多様なニーズにお応えし、確かな安全・品質によりお客様に信頼され選ばれ続けるロジスティクス・パートナー事業者となる。
- (2) 従業員が将来に希望を持ち、生き生きと仕事に取り組める物流会社となる。
- (3) 企業の社会的責任を果たし、株主の期待に応える物流会社となる。

3. 重点施策

(1) 成長事業分野の拡大

チルド物流の市場シェアを拡大させつつ、フローズン、加温等の定温物流を強化する。

(2) 共配事業の強化

チルド共配における全国物流の強みを活かして、品群の拡充により、更なる輸配送の効率化を図る。

(3) 収益力向上

グループ全体最適により収益向上を目指し、物量減少等による不採算エリアの早期改善を図る。

(4) 組織の統合による合理化

近隣営業所の統合、グループ会社の再編により合理化を推進する。

(5) 事業規模の拡大

① 既存事業の拡充、事業領域の拡大のためM&Aを積極的に推進する。

② 東南アジアを中心に海外展開を検討する。

4. 数値目標

	平成24年度 (実績)	平成27年度 (目標)
営業収益	449.7億円	500.0億円
営業利益	6.6億円	9.5億円
経常利益	7.8億円	10.0億円
営業収益経常利益率	1.7%	2.0%

以上